

平成26年度和歌山県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業
「高次脳機能障害支援関係職員等研修会」

- 1 日 時 平成26年7月12日(土) 13時30分～16時30分
- 2 場 所 和歌山県子ども・女性・障害者相談センター3階 多目的ホール
和歌山市毛見1437番地の218 電話 073-445-7314



3 参加者 医療・福祉・介護・就労関係者、家族会等

4 内 容

講演1 13:35～14:30

「高次脳機能障害を通して学んだこと」

障害者支援施設工房「羅針盤」施設長

山河 正裕 氏

講演2 14:40～16:30

「生活リハビリ～生活版ジョブコーチ支援～」

岐阜医療科学大学保健科学部看護学科 教授

阿部 順子 氏

講師紹介

◇ 山河 正裕氏



障害者支援施設工房「羅針盤」施設長

平成7年より大阪府下で初の中途障害者作業所の増設をすすめられ、平成10年豊中市内に工房「羅針盤」を設立。

平成16年 障害者生活支援ステーション・ソレイユを設立、平成23年 第2工房「羅針盤」を設立。また、平成24年 関西初の高次脳機能障害に特化したケアホーム「らしんばんの家」を設立されました。

工房「羅針盤」は、人生半ばで、ある日突然、病気や事故などで障害を負った中途障害の方の支援施設です。一人でも多くの方が生きがいと希望を持って暮らしていける街づくりを目指して、市民や関係機関と連携しながら支援施設の更なる充実と増設に精力的に取り組まれています。

◇ 阿部 順子氏

岐阜医療科学大学保健科学部看護学科 教授。

名古屋市身体障害者更生援護施設や更生相談所において活躍され、平成元年名古屋市屋総合リハビリテーションセンター福祉部主幹、平成17年より高次脳機能障害支援科長を兼務した後、平成18年から現職。平成元年には臨床心理士資格も取得。

NPO法人日本脳外傷友の会顧問、NPO法人日本脳外傷友の会みずほ会副理事長、岐阜県高次脳機能障害対策推進委員会、リハビリテーション心理職会顧問などを歴任されています。

主な著書に『脳外傷者の社会生活を支援するリハビリテーション』、『脳外傷者の社会生活を支援するリハビリテーション 実践編 事例で学ぶノウハウ』、『認知機能回復のための訓練指導マニュアル』などがあります。

5 資料代 当日使用する資料「生活版ジョブコーチ支援（ガイドブック編、事例編）」（日本脳外傷友の会発行）の資料代300円が必要となります。

6 定員 100名 申し込み締め切り7月1日（火）定員オーバーした場合のみ、先着順 こちらから連絡します。申し込み方法は、ウラ面をご覧ください。

7 なお、当該日の午前10時時点で和歌山県内において「大雨警報」もしくは「暴風警報」が発令中の場合は中止といたします。

高次脳機能障害支援関係職員等研修会

高次脳機能障害とは

脳卒中や交通事故や転落事故等で脳の損傷を負うことにより、昔のことはよく覚えているのに新しいことを覚えられない等の記憶障害、すぐ飽きる、集中力が続かない等の注意障害や怒りやすい泣きやすい暴力的になる等の行動と感情の障害などが現れる障害です。この障害は外見からはわかりにくいことが多いため、当事者・家族だけでなく周囲の人々が困惑することが多くみられます。高次脳機能障害者の方が安心して地域で暮らしていくためには、医療従事者、障害福祉・介護サービス事業者、自治体職員、就労等の家族・当事者の方と接する関係者が適切な知識を共有して支援していく必要があります。

そういったことで今回、高次脳機能障害支援普及事業の一環として、医療・福祉・介護・就労機関等関係職員の方を対象に、高次脳機能障害の診断やその対応にかかる基礎的な知識を理解し、高次脳機能障害当事者とその家族を地域でいかに支援するかを学ぶことを目的に研修会を開催します。

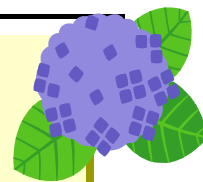
お申し込みは、ファックス、もしくはEメールで参加者名・所属・職種・電話番号・ファックス番号・Eメールアドレスをご記入のうえ、送信ください。

073-446-0036

ファックスでのお申し込み

(この表をそのまま送付ください)

申し込み締め切り 7月1日(火)



参加者ご氏名 ※複数の氏名を記入していただいても結構です	所属・職種 ※保健・医療・福祉等の関係者の方は必ずご記入ください	手話通訳や車いす等の配慮等が必要な場合は記載してください
電話・FAX番号	Eメールアドレス	
☎ FAX		

和歌山県子ども・女性・障害者相談センター 障害者支援課
TEL : 073-445-7314 FAX : 073-446-0036
E-mail : e0404025@pref.wakayama.lg.jp